

東部地域ブロックにおける学校統合の組合せ（案）

（令和２年２月）

○表記に関する注意事項

- 1 各学校の建築年度は、現有校舎のうち、最も古い棟の建築年度とした。
- 2 児童生徒数は、2040年の国立社会保障・人口問題研究所（社人研）推計を最小値、人口ビジョン目標を最大値で示した。
- 3 小学校の18学級の最小値・最大値は、412～576人であり、12学級の最小値236人を下回る場合は、統合後の規模をイタリックで示した。
- 4 中学校の18学級の最小値・最大値は、483～594人であり、12学級の最小値291人を下回る場合は、統合後の規模をイタリックで示した。

東部地域

小学校（7校→5校を上限）			中学校（5校→3校を上限）		
学校名、校舎建築年度 児童数	統合後 の規模	接続先	学校名、校舎建築年度 生徒数	統合後 の規模	
①明德小 S56 126～198人	126～ 198人	➡	①秋田東中 S50 277～440人	277～ 440人	
②旭川小 S46 325～517人	325～ 517人				
1 ③太平小 S55 22～36人	416～ 660人	➡	②太平中 H3 14～24人	332～ 529人	1
④下北手小 S55 55～89人			③下北手中 S63 19～30人		
⑤広面小 S49 339～535人			④城東中 S54 299～475人		
⑥東小 S51 293～463人	293～ 463人				
⑦桜小 S58 579～913人	579～ 913人	➡	⑤桜中 H9 270～428人	270～ 428人	

○理由

1 中学校

(1) ②太平中、③下北手中、④城東中の組み合わせ

- ・太平中と下北手中は、すでに1学年1学級となっていること。
- ・太平中と下北手中の2校統合では、十分な規模とならないこと。
- ・太平中、下北手中、城東中の3校が隣接していること。

2 小学校

(1) ③太平小、④下北手小、⑤広面小の組み合わせ

- ・太平小は、すでに複式学級となっていること。
- ・下北手小は、すでに1学年1学級となっていること。
- ・太平小と下北手小の2校統合では、十分な規模とならないこと。
- ・太平中、下北手中、城東中の3校統合を前提に考えると、接続する太平小、下北手小、広面小の組み合わせが、より望ましいこと。